



Book Review

評者: 篠崎恵美子

人間環境大学大学院看護学研究科 教授

医療者のためのExcel入門

超・基礎から医療データ分析まで 第2版

著: 田久浩志 / 定価: 本体2400円+税

発行: 医学書院 / TEL: 03-3817-5650



医療者がExcelを使うときのノウハウを伝授する秘伝の書

本書を手に取り、私はすぐにパソコンの電源を入れてExcelを操作したい衝動にかられました。

私の書棚には、田久浩志先生の著作『統計解析なんかこわくない——データ整理から学会発表まで』『看護研究なんかこわくない——計画立案から文章作成まで』などが並んでいます。私は田久先生と先生が執筆された数々の書籍に、なんと20年ほどお世話になっているのです。初めて看護研究に真摯に取り組んだとき、多くの看護研究初心者がそうであるのと同じように、私も数字の扱いに悩み、書籍に手をのびたのがきっかけでした。一端の研究者になった今でも、本書から新たな発見を得ています。

サブタイトルに「超・基礎から医療データ分析まで」とあるように、本書はExcel初心者にわかりやすいだけでなく、医療データを分析しようとしている研究者に向けてもExcelの使い方をやさしく示しています。単なるExcelのマニュアル本(解説本)というよりも、田久先生がコツコツと集めてきたノウハウを伝授するために書かれた秘伝の書という表現が合うのではないかと思います。

たとえば、#や@といった特殊記号の読み方などのように、ふだんは気に留めませんが、「これはどのように読むのか」と尋ねられると答えられないようなことも本書には記載されています。今さら人には聞けない、どうしても困ったときに、「ここに書いてあり

ますよ」とこっそりと教えてくれる、そんな書籍です。また、データ入力やスライド原稿作成が楽になる裏ワザなどもていねいに示されています。多くの読者から「もっと早くに知っていたら……」という嘆きの声が聞こえてきそうな内容です。

本書を読み終えて、私は田久先生に「統計の専門家として、執筆するときに意識した点」を尋ねてみました。すると、「わかりやすさ。肌感覚で理解できる、数式でなくても、あ、そうかとわかる工夫」という言葉が返ってきました。なるほど、先生はこれまで看護研究で迷える看護師たちの味方として、数多くの看護研究にかかわってきたその経験から、「わかりやすさ」を追求して書かれたのだということを実感しました。

本書が発行された2020年はナイチンゲール生誕200年にあたります。ナイチンゲールは近代看護の創始者であり、統計学者でもありました。また、カール・ピアソンは統計学を「科学の文法」と述べています。本書は、私たち看護師が「科学の文法」を味方につけるためのノウハウを伝授してくれます。「大丈夫、Excelでたいいのことはできますよ、そして仕事が楽になりますよ」とにっこり微笑む田久先生の笑顔が浮かぶような書籍です。